

秋季公開講座

「迫りつつある災害・環境の危機～身近な防災・環境・資源を考える～」

富山県立大学では開学以来、地域の皆さまとの交流の場をつくり、本学の教育・研究の成果を広く開放し、地域社会の向上と皆さまの生涯学習の一助となることを目的に、『秋季公開講座』を毎年開講しています。

平成26年度は、「迫りつつある災害・環境の危機～身近な防災・環境・資源を考える～」をテーマに、水質改善、災害・防災、建物の老朽化対策、廃棄物処理など、環境工学科の講師陣が多彩な視点から環境にアプローチする講義を行いました。受講者数は、延べ200名となりました。

受講料は無料。県生涯学習カレッジとも連携しています。



渡辺教授の講義の様子

◆講義スケジュール及び担当講師◆

日時	時間	講義項目	講師等
11/1 (土)	13:30～13:40	開講式	学長 石塚 勝
	13:40～14:50	水環境の汚染と生態系への影響	環境工学科 講師 坂本 正樹
	15:00～16:10	土壌環境の保全と耐災性向上	環境工学科 准教授 畠 俊郎
11/8 (土)	13:30～14:40	災害を引き起こす地盤環境について	環境工学科 講師 古谷 元
	14:50～16:00	コンクリート建造物の老朽化の現状と対策	環境工学科 准教授 伊藤 始
11/15 (土)	13:30～14:40	廃棄物をリサイクルするとどうなる？	環境工学科 講師 佐伯 孝
	14:50～16:00	風が運ぶ大気汚染	環境工学科 教授 渡辺 幸一
11/22 (土)	13:30～14:40	廃棄物である我輩は資源である（落語付き）	環境工学科 准教授 立田 真文
	14:50～16:00	いつ、どこでも発生する大規模水災害	環境工学科 准教授 手計 太一
	16:00～	閉講式	地域連携センター所長 岡田 敏美

富山県立大学産学官連携 環境シンポジウム



杉野会長挨拶の様子

平成26年12月12日（金）富山国際会議場において、「富山県立大学産学官連携環境シンポジウム～環境ものづくりでつながるとやまの産学官～」が開催されました。このシンポジウムは、大学が取り組んでいる環境教育や環境調和型先端技術開発研究、産学連携事業等について情報発信するとともに、企業関係者等に環境人材育成について理解を深めていただくために開かれたものです。

基調講演では、名古屋大学大学院工学研究科准教授の小林敬幸氏が「富山における産学官連携の今後とは」と題してご講演されました。また、パネルディスカッションでは、本学が推進する環境と調和した技術開発、及び産学官での連携に取り組む本学教員の研究成果を発表し、産学官のそれぞれの立場から議論が展開されました。

コーディネーター：富山県立大学 九里教授

パネリスト：富山県立大学 堀川准教授、真田准教授、唐木准教授、手計准教授

コメンテーター：名古屋大学 大学院工学研究科准教授 小林敬幸氏（基調講演講師）